

令和6年度子育てサポーターズフォーラム (京都府地域サポーター育成事業) 開催!

令和6年12月5日(木)、京都府立口丹波勤労者福祉会館(クアスポくちたん)において、子育てサポーターズフォーラム(京都府地域サポーター育成事業)を開催しました。

南丹管内の幼稚園から高等学校までの PTA、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)、学校関係者、社会教育関係者など、様々な立場で南丹地区の子育てに関わっていただいている方々約40名の参加がありました。

社会が大きく変化していく中で、子どもたちの健全育成に向けて、地域と学校が連携・協働し、社会全体で支えていくことが求められています。その一端を担うコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を進めるために、今年度は、特定非営利活動法人 丹波ひとまち支援機構(たんえん) 蔦木 伸一郎様をお招きし、「丹波市の学校を核とした地域づくり」と題して御講演いただきました。「情報共有」や「小さなチャレンジを積み重ねること」の大切さをたくさんの実践を通してお話いただき、大変勉強になりました。



グループワークでは、様々な職種の方々がグループとなり、「子どものために地域だからできること」について考え、アイデアを交流しました。他のグループの考えを見合ったり、発表を聞いたりすることを通して、学校を核とした地域づくりについて考えを深める時間となりました。

◆テーマ 「学校を核とした地域づくり・人づくりについて考えよう」

◆内容

- ・講演「丹波市の学校を核とした地域づくり」
- ・グループワーク

◇講師 特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構(たんえん)
蔦木 伸一郎 (社会教育士) 様

南丹教育局では、南丹地域の市町教育委員会や幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校の取組を支援するとともに、地域ならではの教育振興に取り組んでいます。

ぜひ、ホームページをご覧ください!!

南丹教育局ホームページ
<http://www.kyoto-be.ne.jp/nantan-k/cms/>

南丹教育局



講演「丹波市の学校を核とした地域づくり」



大人が試行錯誤を楽しむことが大切！

連携・協働をするために大切にしたいこと

◎とにかく情報共有(知らないとコミットできない)

→情報共有があるから興味・関心を持てる！

◎そのうえで話し合いを繰り返す(関わりしろを増やす)

→話し合いや活動を通して、たくさんの人との「つながり」や「関わり」が生まれる

◎まずは小さくやってみる(取り組むハードルを下げる)

→反省会ではなく、ふりかえり会(何が良かったか、次どうしたらうまくいくか)を大事に！

～感想～

- ★ 会議を効果的に行う場合、事前に情報共有することで、「参加者」ではなく「当事者」とすることは大切であることがわかった。イメージを共有するためにも、様々な考えを出し合うことが必要であり、そのことが人と人のつながりづくりにもなることが学べた。
- ★ 学校×地域の大人が生み出す可能性に触れ、大変わくわくした。正解であることにしぼられず、共に考え、共にチャレンジし、共に振り返る。大人が試行錯誤を楽しむことを心に刻みたいと思う。
- ★ 地域と学校で「情報を共有する」ことが、何より大事であると改めて思った。「地域づくり」にしっかり目を向け、学校を核(起点)とした地域活性化につなげられるように、子どもを中心に据えて学びを位置付けていくことが大切だと思った。

グループワーク「子どもたちに対して、地域だからできる体験とは？」



グループ交流後は、他のグループの内容を見て回り、気になるアイデアに、シールを貼りました。



まずは、グループ交流から。それぞれが考えるアイデアを出し合いました。



◎ 最後は、代表のグループに発表いただきました。



～感想～

- ★ 子どもたちのために地域だからできることについて話し合うと、グループみんなの方向性が似ていたことが印象的だった。学校を拠点として地域を盛り上げ、子どもの心を育む活動を学校運営協議会、地域の方々と共にやわらかい心をもちながら進めていきたいと思った。よいヒントをたくさんいただいたので、まずは一つずつチャレンジしていきたい。
- ★ いろいろな年齢の人たちが交流していくことが地域づくりにつながるなと思った。いろいろな壁を取り払って協力し合える地域になれば、子どもたちにとっていい環境なのだろうなと改めて実感した。
- ★ 普段、学校で先生方と話す時は、どうしても保護者という看板を背負って話さなければいけないけれど、今回のグループワークのように一人の大人として対話ができるってとても良いなと感じた。もっと時間をかけて深く話したいと思うくらい、大変貴重で有意義な時間を過ごすことができた。